記者発表資料

平成２９年　８月１０日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会の審議概要について
（第二部会第１回定例会議）

東北地方整備局入札監視委員会の平成２９年度第二部会第１回定例会議が、平２９年７月４日（火）に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

なお、第二部会第１回定例会議では、委員会が抽出した案件６件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

（第二部会）仙台市青葉区本町３丁目３番１号　　TEL (022)716-0013(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)
契 約 管 理 官　中嶋勝正（内線６２２１）
経理調達課課長補佐　山田耕平（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所	平成２９年　７月　４日（火）　東北地方整備局 会議室
委員	部　会　長　高橋 敏彦 【(学) 東北工業大学 工学部 教授 】 部会長代理　是川 晴彦 【(国) 山形大学 人文社会科学部 教授 】 委　　員　我妻 崇 【 弁護士 】
審議対象期間	平成２９年　１月　１日　～　平成２９年　３月３１日 （上記期間に契約締結した案件を審議）
審議案件	総件数　６件　（別紙―１ 審議案件一覧のとおり）

工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	１件	（備考） ・審議に先立ち、 (1)工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2)指名停止等の運用状況 (3)談合情報等の対応状況 (4)再度入札における一位不動状況 (5)低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告が行われました。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	３件	
	工事希望型競争入札	０件	
	指名競争入札	０件	
	随意契約	０件	
建設コンサルタント業務等		１件	
役務の提供等及び物品の製造等		１件	

委員からの意見･質問、それに対する説明･回答	別紙―２のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。

別紙―1

審　議　案　件　一　覧

【工事】

入札方式	工　事　名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位：千円）	落札率（単位：%）	担当事務所
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	小名浜港東港地区航路・泊地（－１８ｍ）浚渫外工事	港湾等しゅんせつ工事	2者	1者	H29.2.16	五洋・りんかい日産特定建設工事共同企業体	1,438,560	97.99	小名浜港湾

入札方式	工　事　名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位：千円）	落札率（単位：%）	担当事務所
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	酒田港外港地区岸壁（－１４ｍ）護岸築造工事	港湾土木工事	3者	2者	H29.1.6	(株)本間組	194,400	97.37	酒田港湾
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	久慈港湾口地区防波堤（災害復旧）消波工事	港湾土木工事	7者	5者	H29.2.6	栄大建設(株)	233,280	94.37	釜石港湾
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	能代港大森地区泊地（－１３ｍ）浚渫工事	港湾等しゅんせつ工事	4者	2者	H29.3.17	中田建設(株)	137,916	94.52	秋田港湾

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業　務　名	業務区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位：千円）	落札率（単位：%）	担当事務所
簡易公募型競争入札方式	小名浜港浚渫土砂性状分析検討業務	建設コンサルタント等	1者	1者	H29.1.26	(一社)水底質浄化技術協会	6,480	85.77	小名浜港湾

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業　務　名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額（単位：千円）	落札率（単位：%）	担当事務所
一般競争入札方式	むつ小川原港港湾業務艇用船	物品の製造又は役務の提供等	1者	1者	H29.2.22	附田建設(株)	※76	98.09	八戸港湾・空港整備

※本契約は単価契約であり、契約金額欄は「供用１日当り」の単価である。

別紙―２

１．報告

意見・質問	回　　答
意見・質問なし	

２．審議

意見・質問	回　　答
１　小名浜港東港地区航路・泊地（－１８ｍ）浚渫外工事	
・入札を辞退した者の辞退理由は把握しているのか。	・辞退者に対してヒアリングを行ったところ、辞退理由として「本工事で使用するポンプ浚渫船の調達にあたり、所有者から見積を徴したところ予想以上に高額であったため、想定した予定価格を超える工事費になるものと判断し、やむなく入札を見送った」との回答がありました。
・比較的規模の大きい工事であるが、入札参加者が少ない理由をどのように考えているか。	・浚渫区域内には特に固い地盤があり、施工には8,000PS級のポンプ浚渫船が必要となりますが、国内にある同等規格のポンプ浚渫船７隻のうち、近年、同区域で稼働実績があるポンプ浚渫船は、現在も小名浜港で稼働中の１隻だけです。 　このポンプ浚渫船を使用することが最適との判断もあり、入札参加希望者の引合いが集中し、調達調整が難しかったという事情が考えられます。
・競争参加申請した２者は大手の企業であるが、このような企業ではポンプ浚渫船を保有していないのか。	・自社又は系列会社でポンプ浚渫船を保有する企業はありますが、8,000PS級のポンプ浚渫船を保有する企業となると、業界でも数社に限られる状況にあると思われます。
・工事内容に護岸の上部工も含まれているが、浚渫工と一緒に発注した理由は何か。	・この工事では浚渫土砂を護岸で囲まれた区域内に揚土することから、浚渫工の進捗状況を勘案しつつ、護岸の嵩上げや目地部の隙間対策を一体的に進める必要があったため、浚渫工と上部工を一括発注といたしました。
２　酒田港外港地区岸壁（－１４ｍ）護岸築造工事	
・入札を辞退した者の辞退理由は把握しているのか。	・辞退者に対してヒアリングを行ったところ、辞退理由として「他の工事を受注したことにより、配置を予定していた技術者の配置ができなくなったので辞退した」との回答がありました。
・予定価格を超過した入札者がいるが、超過した理由はどのようなものと考えているか。	・予定価格を超過した者については、下請けを予定している地元協力企業の見積もりを参考に工事費を算出していることから、その見積もりの結果に伴って、予定価格を超過する入札額になってしまったものと聞いております。

3　久慈港湾口地区防波堤（災害復旧）消波工事	
・入札価格が近接した価格となっているが、どのような理由によるものと考えているか。	・同種の工事を毎年発注し、その都度、予定価格や積算内訳を公表していること、工事内容も単一工種であることから、精度の高い算定が可能であると考えられます。 　また、入札参加者はともに地元企業であり、利益率の考え方に大きな差はないと思われることから、入札価格が近接した価格になったものと考えています。
4　能代港大森地区泊地（－１３ｍ）浚渫工事	
・入札辞退者がいるが、入札を辞退できるのはどの時点か。	・入札を辞退できる期間は、発注者が競争参加資格確認通知書を発行した時から、競争参加資格者が入札書を提出する前までの間となります。 　例えば、この間に他の工事の受注が決定し、予定していた技術者が配置できなくなった時などに辞退の申し出が行われる場合があります。
・グラブ浚渫船を保有している企業は多いのか。	・地域によって差はありますが、秋田地区では浚渫量の大きくない工事に対応できるグラブ浚渫船を保有する地元企業は比較的多いと思われます。
5　小名浜港浚渫土砂性状分析検討業務	
・入札参加者が１者となった理由は、どのように考えているか。	・本業務について検証したところ、入札説明書等の資料をダウンロードした者は、２１者おりましたが、入札参加を表明した者は１者のみでした。 　入札参加者が減少した理由としては、「凝集剤を添加した浚渫土の分析試験」に加え、「基礎地盤の安定性評価や環境への影響評価」を含めたことから、より高度な専門性を必要とする業務と捉えられた可能性があるものと推察しています。
・発注時期などの影響はないのか。	・履行期間が短い、あるいは年度末の繁忙期ということで敬遠された可能性も否定できませんが、浚渫工事が断続的に実施される中で、前の工事の完了から次の工事の開始までの間に試料採取等を実施する必要があり、この時期での発注となったものです。
6　むつ小川原港港湾業務艇用船	
・参加資格確認申請書の提出が可能と思われる者が１者となっているが、他にはいないのか。	・運航場所となるむつ小川原港で調査した結果では、用船可能な船舶は１隻のみでした。 　近隣の港から船舶を回航して対応することも可能ですが、費用面で割高になると思われます。
・借上費用は、船によって金額に違いがあるのか。	・業務を行うために最低限必要な馬力を有する船舶を対象として予定価格を算定していますが、事業者が用意できる船舶は、馬力や船齢などの状態が異なることから価格に差が出てくるものと思われます。